

ジョイエス

生活者・生産者をむすぶ生活クラブ(エス)を楽しみ、
参加する(エンジョイ&ジョイン)ための情報提供がジョイエスの役割です

生活クラブ 東京

2025

4

April



国際協同組合年

特集

2024 年度理事長座談会

協同組合の価値再発見！

おおぜいの「私」が「地域」で活動する理由



4月～6月まで

LET's TRY! 紹介キャンペーン



320g(20個)

お友だちを
紹介してくれたあなたに
餃子をプレゼント



お友だち紹介は
こちらから

1月28日に文京区にあるスポーツジムにて1日限定キャラバンを行いました。
ジムの利用者に温州みかんジュースを試飲してもらい、生活クラブをアピールしました。

組織の概要

(2025年2月末現在) ●組合員数(デポー含む)93,086人 ●2月度加入638人/脱退674人 ●2月度利用高17億8,866万円/世帯あたり24,781円(デポー除く)



ミックス
紙
FSC® FSC® C020828

2024年度理事長座談会

協同組合の価値再発見! おおぜいの

「私」が「地域」で活動する理由

2025年は国連が定める国際協同組合年です。さらに、生活クラブの活動が任意団体として始めて60年の節目の年です。世田谷で牛乳の共同購入から始まった生活クラブは、今や全国42万人、東京では約9万人の組合員が活動し、食料品のみならず、電気の共同購入や共済事業にも取り組み、さまざまな地域事業を生み出してきました。

6月の総代会で提案する「第8次長期計画(2025年度～2029年度)案」では、2029年に東京の組合員10万人をめざします。食料品全般の値上がり、そして気候危機による生産状況の変化、少子高齢化など…数々の社会的な不安がある中で、どのように食べる仲間を増やして、地域の活動をすすめていくのか。東京を4つの地域に分けたそれぞれのブロック単協の理事長と、生活クラブ東京の理事長の5人で座談会を行い、地域で話し合った内容を共有しながら将来の夢を語り合いました。

理事長の紹介

多摩きた生活クラブ 理事長 磯嶋 志保子さん



【加入のきっかけ】

長女が生まれた時、環境ホルモンやダイオキシンが話題で不安でした。市の離乳食講座で会った人に、それなら生活クラブがいいとすすめられたのがきっかけ。パスタや生乳と出会い、この価格で利用できるのがいいなと思って加入。

【活動に関わるきっかけ】

加入した班の班長がすごく素敵で、消費材やせっけんの使い方など教えてくれました。その班の中で持ち回りで支部委員をやったのがきっかけ。

【好きな消費材】生乳100%ヨーグルト

ヨーグルトはどれも同じと思っていただけ、まちで食べ比べをしたら明らかにおいしい!



北東京生活クラブ 理事長 守本 香さん



【加入のきっかけ】

近所の人においしい生協があると聞き「お試しセットを買ってくれたら紹介プレゼントがもらえる」と言われたのが最初。肉嫌いだっただけで購入した豚肉を「おいしい」というので加入しました。

【活動に関わるきっかけ】

広報紙で見かけた企画に参加したら近所の友人が運営委員をやっていたんです。その友人が転居のため脱退するので、運営委員をやらないかと誘われたのがきっかけ。

【好きな消費材】キャップ再生ゴミ袋

牛乳のキャップを返し、それをまたみんなで使うのが生活クラブらしくて好き。とっても丈夫!!



多摩南生活クラブ 理事長 椿 多見子さん



【加入のきっかけ】

姉が埼玉県の組合員で話を聞いていましたが、当時は仕事しており班しなくて加入を断念。その後、1992年に息子が生まれた時は仕事をやめていたので近所の班に加入しました。

【活動に関わるきっかけ】

調布から八王子に引っ越した際「八王子にデポができるらしいから説明会に行かない?」と友人に誘われて参加し、運営委員になりました。

【好きな消費材】ひじき

市販のものと全然違う!



23区南生活クラブ 理事長 谷野 あかねさん



【加入のきっかけ】

長野県に住んでいた時、偶然チラシで見た離乳食企画。参加したいと思ったけれど、主催の生活クラブって何?と問い合わせたところ、運営委員の組合員が説明に来てくれて、班に加入しました。

【活動に関わるきっかけ】

当時、長野県では班しか取組みがなく、最初は既存の班に入りましたが、5人集まれば班をつくれると聞き、自ら班をつくって班長会に出たのがきっかけです。

【好きな消費材】豚肉・バランスセット4パック

包材のごみも少なく気に入っています。



生活クラブ東京 理事長 加瀬 和美さん (北東京生活クラブ理事長を経て、2023年度より生活クラブ東京理事長)

【加入のきっかけ】

神奈川県相模原市で加入。生活クラブの組合員だった叔母からもらった醤油のびんを返すために生活クラブの配達担当者になり声をかけたのがきっかけ。

【活動に関わるきっかけ】

活動に参加すると、いろんな人がいていろんなことが学べるのが分かりました。人との出会いが魅力。

【好きな消費材】共同開発米

庄内豪雨の災害支援に行ったことでより思いが強くなりました。



地域の課題を解決するための「拡大」

なぜ「組合員を増やす」のか

加瀬 少子高齢化が進み、世帯人数が減っています。消費材を維持するためには食べる人の数がより重要になっていく中、地域で組合員を増やす活動(拡大)を進めています。課題などありますか?

磯嶋 今の社会の中で「これはまずい」と思える課題をみつければ、一緒に解決する仲間を探していく。それが、本来の拡大のモチベーションになります。生活クラブが始めた当初は班が中心で、最少ロットを満たすために班の人数を増やさないとほしい消費材を注文できませんでした。「豚肉や牛乳を自分の班で利用したい」から班の組合員を増やすというように、理由が分かりやすかったです。

谷野 23区南では、新しいエリアとして湾岸エリアがあります。タワーマンションが立ち並び、生活クラブをお知らせするチラシがポスティングできない課題もありますが、逆に可能性もあると感じています。生活クラブが入ることで、マンションの中でコミュニケーションがとれる。そうした付加価値も求められているのは、災害などという時の対応が心配です。

そういう面でもつながりたいという人は多いように感じますね。

加瀬 23区南は60年の活動の歴史がある世田谷区がある一方、湾岸という新しいエリアもある。どういふ地域をつくりたいかというのはいずれですね。

谷野 60年前に世田谷で生活クラブが誕生した時も、ゼロからのスタート。湾岸エリアも今まさに同じ状況です。

守本 北東京では、新しく拡大を始めた文京区が、今や3番目に組織率が高いんです。組織率をあげれば、小さな集まりでも社会を動かすことができます。正直、以前はまちの運営委員は拡大を進めることに抵抗感を持っていました。そこをほぐすためにキャラバンや拡大チラシをつくるプロジェクトをすすめて、みんなで話し合ってみる。運営委員が拡大に前向きになれる。

まずは「食べてみて!」から始める

谷野 23区南でお友だちに消費材を紹介する「おうちカフェ」を呼びかけたら、反響が大きかったです。組合員が誰かに消費材を食べてもらい、確実に知るきっかけをつくっているのは、すごいこと

だと思えます。

守本 最初から「意識の高い人」を対象に拡大をしては、という声もありますが、もしそうだったら私は加入していなかった(笑)。私が今活動しているのは、私みたいな人を増やしたいからです。ほんやり生きていた私が、生活クラブで活動に出会ったことであるんなことを考え、人にも話すようになった。考える人が増えたら、どんな社会は良くなるんじゃないかな。知らない人に生活クラブを伝えるのも拡大だし、何も知らずに

民主主義を鍛えていく

話し合いを重ねて、道をつくっていく

磯嶋 みんなの思いを集めて「これがやりたい」ということを作ることができる。それが生活クラブの強みです。関わる人みんなが合意形成をして、拡大の方法も決めていく。それに共感する人が生活クラブに加入してくれるといいな。

守本 わかります! 私もそこに惹かれて活動にハマりました。最初はびっくりしましたもん! PTA総会などは、予定通りにトントンで合意されて終わるのが普通なのに、まち総会(まち大会)や総代会ではガンガン意見がでる!そこ

加入した組合員を活動する組合員にしていくのも拡大だと思えます。**加瀬** やっぱ「つい知らせてくならない」というのが大事。**守本** 自分が生活クラブが好きじゃないと発信できないと思うんです。ファンを増やすことが大事。**磯嶋** 組合員1人が1人紹介を出したら一気に組合員人数が倍になるじゃない!と思ってるんです。誰かに「始めたなら?」と言えるようになるには、まずは自分自身が生活クラブを「いいじゃん!」と思えるかどうかですね。

加瀬 私が北東京の理事長になる時、総代会で議案がひとつ否決されたのが、本当にショックでした。でも、それができるのが面白いところなんだ、と再認識したんです。**磯嶋** 反対しても、敵対ではない。それが大事ですね。それは今や世界の課題です。右か左かで二分するのではなく、話し合うことが大事。最近「継続討議」って大事だなんて改めて思ったんです。どうしても合意できなかったら、多数決で無理やり決めるのではなくて、持ち越しができる。これは学校教育にも取り入れてほしいですね。

守本 多数決は「民主主義」じゃないですね。**磯嶋** こういうことに共感してく



磯嶋 志保子 さん

知らなかつた人と出会えて、生活クラブの話ができる。これはすごい成果。

磯嶋 「私たち、頑張ってるよね!」と確認する場が必要ですね。疲れただけでやって良かったね、とお茶を飲む場(笑)。

守本 楽しいからやっていることでも、活動すること、たった一人でも、今まで生活クラブを知らなかつた人と出会えて、生活クラブの話ができる。これはすごい成果。

谷野 わかります!「他の人と同じようにできなくて申し訳ないから活動をやめたい」と言われることがあります。

磯嶋 課題は、活動する組合員の自己評価が低いこと!仕事で高い成果を求められることの弊害でしょうか。

守本 いろんな方が関われば、多様な視点が加わりますね。

子育て世代が参加するだろうと思つてクリスマス食事を企画したところ、仕事帰りの男性や女性が1人で参加してくれていろんな話ができて楽しかったということもありました。



守本 香 さん

私のように「うっかり加入しちゃった」人をたくさん巻き込みたいですね(笑)。

守本 フラットに意見交換ができる、みんな良くする。それができるのが生活クラブ。そこに参加する人を増やし、自分たちの地域を自分たちでつくっていききたいですね。そのためにも拡大を進めて、私のように「うっかり加入しちゃった」人をたくさん巻き込みたいですね(笑)。

加瀬 地域でこれから取り組みたいことはありますか?

谷野 長野県で生活クラブに加入した時、運動グループ*2をつくるという勉強会に参加しました。その後、東京に転居したらすでに運動グループがたくさんあることに感動しました。地域の課題を解決するため、新しい活動を立ち上げていく。これを、生活クラブを道具にして進めたいです。

加瀬 フラットに意見交換ができる、みんな良くする。それができるのが生活クラブ。そこに参加する人を増やし、自分たちの地域を自分たちでつくっていききたいですね。そのためにも拡大を進めて、私のように「うっかり加入しちゃった」人をたくさん巻き込みたいですね(笑)。



加瀬 和美 さん

それができる場が、生活クラブです。

加瀬 暮らしの共通の課題を解決できるのは、やっぱり地域ですね。

守本 暮らしの共通の課題を解決できるのは、やっぱり地域ですね。

加瀬 地域でどれだけ動けるか、という点が共通ですね。やっぱり地域で、「まち」ってすごいんです。なんでもできる。みんなで集まってご飯をつくったり、手芸でもいい。みんなで何かつくりながら、つながりを生み出せる場。それはやっぱり、距離が近くないと難しい。

守本 暮らしの共通の課題を解決できるのは、やっぱり地域ですね。

大事なことは「地域」で会うこと、話すこと

磯嶋 自分たちがやりたいことを、ちょっときついで楽しくやっていく。それが地域でこういう役にたつた、誰かを助けた、というのがうれしいですね。一人ひとりが、あーだこーだ言いながらやっていく楽しさがあると思う。

磯嶋 紹介が進めば、拡大も自然に進むと思うんです。そのためにはやはり、生活クラブが魅力的な組織であることが大事です。

椿 経済や企業優先ではなく、生活者が気持ちよく暮らせる社会をめざしたいですね。先輩組合員どうしが「生活クラブをずっとやってきてよかったね、安心だよ」って話しているのを聞いたことがあります。消費材を食べて維持していくのはもちろん必要ですが、やっぱり人とのつながりが大事。私も「生活クラブに入ってからよかったね」と言い合える仲間を増やしたいです。

加瀬 地域でどれだけ動けるか、という点が共通ですね。やっぱり地域で、「まち」ってすごいんです。なんでもできる。みんなで集まってご飯をつくったり、手芸でもいい。みんなで何かつくりながら、つながりを生み出せる場。それはやっぱり、距離が近くないと難しい。

守本 北東京では若い世代も活動していますが、すこし年を重ねて落ち着いた世代や男性組合員も活動に参加しています。

椿 子育て世代が中心で活動しているところは楽しくありますが、夏休み期間やインフルエンザ流行期はみんな動けなくなるなどの課題もありますね。多世代がまぎって、いるのが理想です。あるまちで、かというところ。これまで子育て世代を運営委員にと思って活動していましたが、50代が運営委員を担うのも良いのでは?

磯嶋 「誰かエライ人が言ったから」でなく、自分たちで決めた、ということがキモですね!

守本 私たちは「品質が良いから」消費材を食べている訳ではありません。もちろん、最初のきっかけはそこだと思います。でも「品質」を価値の中心に置いてしま

えば、もっと高品質で価格の安いものがあればそっちが良い、となりかねない。そうではなく、私たちが「こういうものを作って」とお願いし、作ってくれる生産者がいて、それを続けている。そこに価値があるのだと伝えたい。



椿 多見子 さん

違う意見を否定しない

谷野 せっけんでもエネルギーでも、自分が正しいと思つていたらとと反対の情報がでることがあります。そこですぐ答えを出すのではなく、もがくことが必要だと思います。とりあえず勉強して、何が正しいのか探ることが大事です。

磯嶋 曖昧なところを耐える、ネガティブ・ケイパビリティですね。気候危機対策のために肉を食べないほうが良いという意見もありますが、高齢になつても元気であるために適度に肉を食べたいという思いもある。どっちが正解と言いきれないけど、それぞれの意見を認め合うことが大事なのかなと思います。

守本 誰も正解を知らない、そもそも正解も不正解も無い中で、みんなで試しながらやっていくしかないですね。

磯嶋 その柔軟性こそを重視したいです。そうしたら、みんなもつと生きやすくなるのでは。生活クラブでは、農業はなるべく使わないけれど、すべてを禁止する訳ではない。禁止することで、防虫で

いろいろな人が関わり、組み立てていく

楽しみながら、活動する主体をつくる

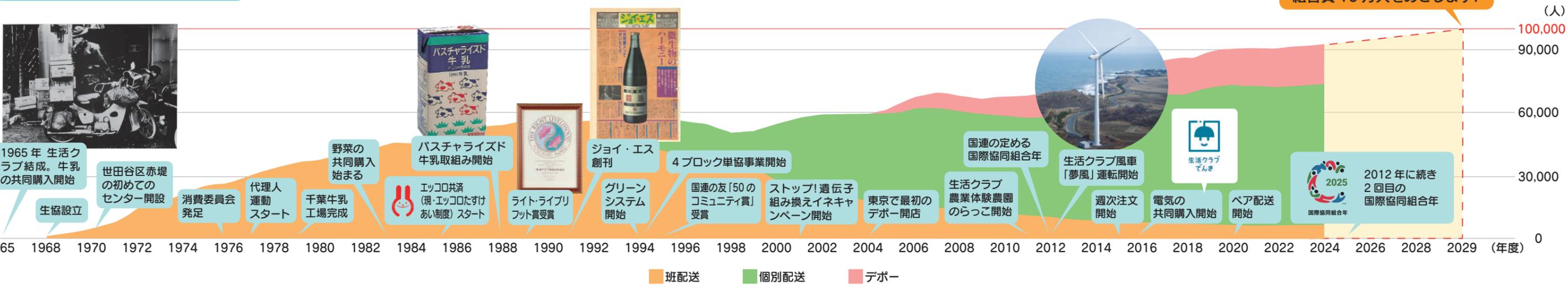
加瀬 働く女性が増え、平日の昼間に会議や企画をすることが難しくなつてきているという話もあります。それぞれの地域で工夫していることはありますか?

磯嶋 まちでは、オンライン会議や、土日に企画をしているところもあります。でもまだ一部ですね。今考えているのは、私のように50代、60代で、仕事や育児が落ち着いてきた方が運営委員をできない

かというところ。これまで子育て世代を運営委員にと思って活動していましたが、50代が運営委員を担うのも良いのでは?

守本 私たちは「品質が良いから」消費材を食べている訳ではありません。もちろん、最初のきっかけはそこだと思います。でも「品質」を価値の中心に置いてしま

生活クラブ組合員人数の推移



*2 運動グループ:生活クラブを母体に生まれたNPO法人やワーカース・コレクティブなどの活動団体



Q わたしの声 Q & A

Q: せっけんで洗濯をするとせっけんカスが気になります。

A: 汚れ落ちがよく、環境にもやさしいせっけんですが、せっけんカスのお悩みをかかえる組合員は少なからずいます。

洗濯物にせっけんカスがついてしまう原因として、洗濯物の入れすぎ、せっけんが力所にかたまっている、せっけんの量が多すぎ、あるいは少なすぎなどが考えられます。これは洗濯用液体せっけんでも粒状せっけんでも同様です。洗濯物に合わせた量の水とせっけんを使用すればせっけんカスはつきにくくなります。

うまくいかない場合は、洗濯用粒状せっけんを洗濯物を入れる前に洗濯機に直接ふり入れ低水位で数分ほど回すなど、溶かしてから洗濯を始めるか、最後のすすぎに洗濯用上用リンスあるいはクエン酸を試してみてください。

せっけんカスを克服して、環境にやさしいせっけん類のご利用を継続してください。



2月 理事会報告 議事抜粋

- 社会福祉法人悠遊への融資について
- 25年度第1期(4月～7月)拡大活動方針について
- 拠点配送(拠点班)の運用開始に向けて
- 大型班の定義人数変更について
- 25年度生活クラブでんき活動方針
- 25年度CS「食べもの講座」実施について
- 第8次長期計画(2025～2029年度)推進会議設置について
- 定款第34条の改定について
- 2024年度法政大学寄附講座の振り返りと2025年度の開講について
- 2025年度法政大学寄附講座実施におけるNPO法人まちぼっとなへの業務委託について
- 政策提案運動第3期方針の実施とスタート集会について
- 新たな中間支援組織の設立に向けた方針案策定の進捗と今後のスケジュールの修正について
- 2024年度リヴォルヴ学校教育研究の「寄付付きカレンダー」の寄付金額及び寄付先並びに受注実績について
- 2024年度期末成果配分一時金について

東京理事の リレーコラム

協同組合を「おおぜい」にわかりやすく伝える



生活クラブ東京では、2014年度から法政大学の全学年の学生を対象とした寄附講座「協同組合論」を継続して実施しています。2024年度に受講した学生から「SDGsは中学校の頃から学べたので、生協の活動も初等教育から学べるとよい」「生活クラブや非営利活動の内容や実態について知る機会が少ないと思う」「教育活動に協同組合の学習を取り入れ日常生活に根差したサービスの提供など、人々が協同組合を身近に感じられるような社会構築が必要になっている」「この授業をきっかけに学生が行動を起こすことで少しでも社会は変化していくのかもしれない。興味を持った時に迷うことなく行動したい」とのコメントが寄せられました。全14回に及ぶ講義の中で協同組合のこと、生活クラブの運動や事業、組合員活動や市民との関り、生産者や運動グループ、地域や自治体との取組みに触れたことで、人々のつながり、人間らしさ、暮らしやすい社会をめざすために自分がどんなことができるのかを考える学生が多かったことは非常に嬉しく、理解と共感を得る機会になったと感じています。

先日、2025国際協同組合年キックオフイベントがあり、各国から協同組合の活動報告がありました。印象的だったのはマレーシアやフィリピンでの若者主導の協同組合です。若者に投資することは協同組合をはじめ、強靱な地域社会、繁栄する経済、そしてより健全な世界が生まれるとの報告がありました。私たちは将来の世代のために、より公平でより包摂的で、持続可能な世界への道をめざして「教育の大切さ」「協同組合間の協同」「地域社会への関与」など、特に若年層との交流を意識して地域社会に根ざした活動を展開していきます。

(生活クラブ東京 専務理事 金丸 正樹)

展示即売会

スーツ・ジャケット・ワイシャツのお仕立て
春・夏物の新柄が入荷しました!ジャケット、パンツ等単品の注文も承ります。約4週間でお届けします。

●デポー八王子みなみ 展示会

4月5日(土)6日(日) 10:30～17:30
会場:デポー八王子みなみ(八王子市別所1-69-5)
TEL:042-670-3099

●デポーせたがや 展示会

4月11日(金)12日(土) 10:30～17:30
会場:生活クラブ館(世田谷宮坂3-13-13)
TEL:03-5426-5211(デポーせたがや)
同時出展:パラマウント(靴)、アイ・メイト(メガネ)、センプレ(婦人服)

●デポー国領駅前 展示会

4月19日(土)20日(日) 10:30～17:30
会場:調布センター(調布市国領町3-4-3)
TEL:042-442-0710(デポー国領駅前)
同時出展:アイ・メイト(メガネ)、東京真珠(宝飾品)、パラマウント(靴)

●赤堤館スーツお仕立て会 要予約

4月26日(土)～29日(火) 10:00～16:00
会場:生活クラブ赤堤館(世田谷区赤堤4-1-6)
《事前予約制》ご来店のご希望日時をお電話にてご連絡ください。
予約電話番号:03-5300-4688(定休日:火・水・日)

展示会関連
TEL 03-3324-4502(10:00～16:00)
定休日:火・水・日

●きく屋宝石店 ジュエリー修理&リフォームフェア

4月3日(木)～15日(火)
10:00～19:00(日曜は18:30まで)
会場:株式会社きく屋宝石店 渋谷・宮益坂
(渋谷区渋谷1-8-7)
大切な思い出や伝えたい想いはそのままに、眠っているジュエリーを新しいデザインにのみがえらせませんか。パール糸替え、指輪サイズ直し、新品仕上げなどの修理も承ります。

●天地堂 ランドセル

2026年モデル発売!ランドセルお買い上げの方にもれなく「防水用ランドセルカバー」をプレゼント!カタログご希望の方は、お電話または下記二次元コードよりWEBでお申し込みください。



事業部
TEL 03-5426-5206

協同村

豊かな自然の中で、農業体験やキャンプなどが楽しめる生活クラブの施設です
入材料:510円(4歳～小学生310円)
駐車料:600円/1日

NPO法人地球野外塾との共催企画

●GPSアプリを使った道迷いゼロハイク
4月13日(日) 9:00～16:00
参加費:5,000円/1人
GPSアプリを使って、地図に出ていない道で金比羅山に登ります。

●ポケットナイフ徹底活用デイキャンプ
5月25日(日) 10:00～16:00
参加費:5,000円/1人
マルチツールナイフを使いこなそう!

ワーカーズ・コレクティブ草の実主催企画

●石窯ピザ焼き体験

4月26日(土)27日(日)
5月3日(土)4日(日)5日(月)
11:00～13:00
参加費:1,700円/1人
ピザ生地を伸ばしてトッピング。石窯に入れて焼きます。

●自然観察と夜のムササビ観察

5月3日(土)4日(日) 17:30～20:00頃
参加費:700円/1人(小学生以上)
ムササビ観察、生態などのお話もあります。



●ソーセージ作りと石窯パン

5月10日(土) 10:00～15:00
参加費:2,600円/1人
羊腸とセロハンでソーセージを作り、石窯で焼いたパンに挟んで食べます。オプションでお昼にピザもあります。(要予約・別料金)

●石窯貸だし用のための講習会!

5月11日(日) 10:00～15:00
参加費:5,000円/1人
石窯の使い方や学び、自分だけで使いこなすための講習会です。

●手もみで美味しい my 紅茶を作ろう

5月18日(日) 10:00～15:00
参加費:2,200円/1人
お茶の葉を摘んで my 紅茶を作ります。石窯でパウンドケーキも作ります。オプションでお昼にピザもあります。(要予約・別料金)

協同村ひだまりファーム
あきる野市戸倉 863
TEL 042-596-0103 休村日:火・水

生活クラブの学校

受講料は組合員価格(記載のない場合無料)
オンラインの記載がない場合は会場のみ
会場記載がない場合は生活クラブ館(世田谷区宮坂3-13-13)開催

【環境政策委員会主催企画】

生活クラブでんきスタート集会

●映画『原発をとめた裁判長 そして原発をとめる農家たち』上映会
4月26日(土) 13:30～16:00
なぜ原発を止めなければならないのか。諦めずに立ち向かった地元農家たちの姿から、未来に希望が持てる映画です。映画に登場する裁判長が来場し、トークイベントを開催します。

政策推進課
TEL 03-5426-5204

【NPO法人コミュニティスクール・まちデザイン(CS まちデザイン)との共催企画】

食農共育講座

詳細はWEBまたは3/31～配布のチラシをご覧ください。

●家庭の食医認定講座

～年代別養生編～(全5回)
5月16日(金)6月13日(金)7月25日(金)
9月26日(金)10月24日(金)
10:30～12:30
講師:中島玲子さん
(漢方薬・生薬認定薬剤師、国際中醫師、国際中医薬膳管理師)
受講料(5回):12,300円 ※テキスト代別途(希望者のみ)
年代に合わせた実践的な養生法を全5回の連続講座で学びます。食材選びのポイントのお話や薬膳茶の試飲もあります。

●家庭の食医 ～季節の養生法～

5月20日(火) 10:30～12:30
講師:中島玲子さん
(漢方薬・生薬認定薬剤師、国際中醫師、国際中医薬膳管理師)
受講料:2,800円
月1回開催、1回ごとにお申込みいただけます。今回は、「筋・血脈・筋肉・皮毛・骨」について学びます。今回は「筋」と関連する「足のつり予防」がテーマです。

●大人のための食育講座

たべものラボ～セミナー&クッキング～
5月23日(金) 10:30～13:00
講師:近藤恵津子さん(CSまちデザイン理事長)
小林つかささん(CS料理講師)
受講料:4,900円
月1回開催、1回ごとにお申込みいただけます。食材についての学びとおいしい料理の実習講座です。今回のセミナーは「小麦とその加工品」について、メニューは「きつねうどん」と「うずまきごぼう天」です。

NPO法人CSまちデザイン
TEL 03-5426-5212

切り取って下の部分を提出してください

わたしの声カード

生活クラブや消費材への意見・要望、企画申込みはこの用紙またはWEBで提出できます。
みなさんの声をお待ちしています。

氏名	電話番号	提出日	事務局記入欄
	センター 組合員 デポー コード	/	センター/デポー 東京本部 / 印

〈お願い〉ご記入の内容について該当項目に○をつけてください。

- ①提案・要望・質問 ②みんなに伝えたいこと ③ジョイエスの感想 ④企画申込み ⑤その他
●質問には2週間程度でお答えしていますが、詳しい調査が必要な場合などさらに時間をいただくことがあります。
※事故品の連絡は現物を保存のうえ、すぐにコールセンター・デポーにお電話ください。生鮮品の報告は翌週までです。
※配送をご利用の方は配達便に、デポーをご利用の方は各デポーのフローワーカーズまでご提出ください。

ご希望のイベント名をご記入ください

※ご記入いただいた情報は目的以外、または次の条件以外では第三者に開示しません。
①ご本人の同意がある時 ②ご本人を特定できない状態で開示する時 ③生活クラブの関連団体、提携先より回答することが望ましい場合

※社会情勢を鑑みて、企画内容が変更、または中止・延期となる場合があります。ご了承ください。

田んぼに入って、
私たちの「米」を知ろう!

参加者募集

那須山麓米田植え交流会



那須塩原にある交流田

毎日食べている、おいしい「ごはん」。その米がどのように育てられているかご存じですか？ 栃木県にある那須山麓米生産者グループ「どではら会」の田んぼでの田植えや稲刈り体験で、私たちの「米」がもっとおいしく食べられます。年3回の交流会を通して「つくる」と「食べる」の距離を縮め、生産者との関係を深められる那須山麓米交流会にご参加ください!

田植え交流会

5月17日(土)



生産者といっしょに小さな苗を植えます。
田んぼの柔らかい泥が気持ちいい♪

稲刈り交流会

9月27日(土)



秋になったら、みんなで稲刈り。
あんなに小さかった苗が立派な稲に育っています!
※田植え交流会で参加の方に別途ご案内します

迎える交流会

11月には那須山麓米の生産者を東京の各地域にお招きし、交流会を開催する予定です。

申込要項

開催日時

5月17日(土) AM7:15~PM6:30

当日は新宿駅付近で集合・解散。貸切バスで移動します。帰着時間は道路状況により、前後する可能性があります。

参加費

大人 **4,000 円**/1人 (税込・昼食代含む)

3歳~小学生 **3,500 円**/1人 (税込・昼食代含む)

※事前の振り込み

申込方法

WEB または お電話で

TEL:03-6758-4342

受付: 9:00~18:00 (土・日をのぞく)

T-LIFE ホールディングス株式会社

本社内支店予約担当 久保



お申し込み

【申込締切 4月11日(金)】

注意事項

- ①3歳未満のお子さんは参加できません。
- ②長時間のバス移動となります。車酔いされる方はご遠慮ください。
- ③申込多数の場合抽選し、4月23日(水)までに全員に結果をご連絡します。
- ④雨天決行。現地で生産者との交流会を行います。
- ⑤キャンセルの取扱い詳細は、抽選後にお知らせします。

※「旅行条件(全文)」を必ずご確認ください

https://www.t-life.co.jp/pdf/joken_shusai_domestic.pdf?220101
(T-LIFE ホールディングス株式会社 WEB サイト)



旅行条件

旅行企画・実施

T-LIFE ホールディングス株式会社

観光庁長官登録旅行業 第197号

〒179-0075 東京都練馬区高松 5-11-26 光が丘MKビル 4階

総合旅行業務取扱管理者 細井 集一

問合せ

生活クラブ東京政策調整部

TEL:03-5426-5204

生活クラブ東京 総代意見交換会開催報告

生活協同組合は相互扶助の精神に基づき、組合員の暮らしをよりよいものとするをめざし、組合員自身の手で出資・利用・運営する組織です。毎年6月に組合員の代表(総代)による総代会を開催し、活動の振り返りと方針決定をしています。

2025年度の総代会に向けた総代意見交換会を1月23日に開催しました。総代103人が参加し、活発な意見交換を行いました。

2024年度はプロジェクトを立ち上げて討議を重ね、第8次長期計画(2025年度~2029年度)案を策定しました。基本テーマは「~ローカルSDGsと社会的連帯経済の推進~一人ひとりに居場所と出番がある循環型の地域社会をつくろう!」とし、仲間を増やし、つながり合って、地域課題の解決に取り組んでいきます。総代からは「時代にあわせた組合員活動と組織運営への新たな展開への期待」「居場所づくりの実現に向けた期待」などたくさんの意見が寄せられました。また、2025年度方針案についても提案・意見交換を行いました。これらの意見をもとに最終案をまとめ、6月の総代会に提案し決定していきます。

総代18人からの質問・意見を受けて回答・意見交換しました



詳細はこちら

生活クラブ東京の
最新情報を
WEB・SNSで発信中!

生活クラブ
東京



WEB サイト



Facebook



Instagram